

人と森をつなぐ情報誌

2025 No.217

林野

RINYA



特集

レクリエーションの森へ出かけよう!!



Connecting people and forests



令和7年 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰

受賞者 紹介

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰とは、緑化推進運動の実施について、顕著な功績のあった個人又は団体に対し、内閣総理大臣が表彰を行うものです。

令和7年は13の個人・団体が受賞されました。本誌では毎号、受賞者の方々をご紹介します。

株式会社チノ^{ふじおか じぎょうしょ}ー藤岡事業所(群馬県藤岡市)

同事業所は、昭和38年の操業より緑豊かな工場を目指して緑化活動に取り組むとともに、敷地内の緑地等を地域住民等に開放し、環境学習・研究、憩いの場を提供しています。

平成23年からは、地域の里山環境を復元した「チノービオトープフォレスト」を地元の大学とともに整備しており、里山環境の保全に加え、希少種の保全にも取り組んでいます。また、平成30年には環境学習館を新設し、社員や地域住民の環境学習の場として活用するほか、社員が敷地内のガイドを務める活動等を通して、緑化意識を醸成するとともに地域に活力を与えています。 ※活動ウェブサイト: <https://www.chino.co.jp/>



緑地の整備を行う社員の皆さん



緑地整備活動後の皆さん



社員によるガイド活動

過去の受賞者については林野庁ウェブサイトをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson_ryokka/hyosyo/index.html



人と森をつなぐ情報誌



2025
No.217

表紙の写真: 岩手山と焼走り熔岩流

ウェブアンケートにご協力をお願いします!

<https://www.contactus.maff.go.jp/rinya/form/kouhou/202504.html>



Contents

- 3 **特集** レクリエーションの森へ出かけよう!!
- 8 **TOPICS 01** 林業技能検定(1級~3級)の令和6年度試験結果と令和7年度試験予定について
- 10 **TOPICS 02** 令和7年みどりの月間
- 11 **TOPICS 03** 全国がんばる林業高校生表彰
- 12 **建築物木材利用促進協定の締結企業の紹介** 「木と共に、巡る未来」の実現に向けて
- 14 **フォレスター活動書記** 地域課題に寄り添う民有林支援 国有林の知見・技術を活かして
- 16 **国有林野事業の取組** 熊本城内の一角「緑のオアシス」、監物台樹木園の紹介
- 18 **TOPICS 04** 「令和6年度日本製材技術賞」表彰式の開催
- 19 **みどりの大使が行く!** 山梨県の林業を視察



特集

レクリエーションの森 へ出かけよう!!

日本の国土の多くは、豊かな森林につまれています。

林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、優れた自然景観を持ち、森林浴や自然観察など自然とのふれあいに適した国有林を「レクリエーションの森」に設定しています。

その中から特にお薦めする7箇所を、今月号と9月号の2回に分けてご紹介します。

※記事で紹介した施設やイベントの営業・開催状況については、事前に主催者のウェブサイト等でご確認ください。

ウェブサイトでは「日本美しの森 お薦め国有林」の見どころや魅力あふれる映像をご紹介します！

レクリエーションの森のうち、特に景観が優れた93箇所を「日本美しの森 お薦め国有林」に選定しており、こちらからご覧になれます。



▶レクリエーションの森：林野庁

ドローンによる空撮映像はこちらをご覧ください。



▶ドローン空撮映像：林野庁

写真

左上：北海道局/緑桂風景林(北海道) 右上：東北局/焼走自然観察教育林(岩手県)

左下：関東局/小田代・湯ノ湖自然観察教育林(栃木県) 右下：近中局/近江湖南アルプス自然休養林(滋賀県)



提供：奥日光写真クラブ

縁桂風景林

北海道乙部町

良縁に恵まれますように、
縁結びの神様が「縁桂」で
待っています

概要

縁桂風景林は、北海道南西部の日本海に面した渡島半島西側に位置しており、標高1,000mを超える乙部岳の麓に位置しています。風景林の名称のもととなる「縁桂」は隣接する2本のカツラからなり、樹齢約500年、高さ約40m、幹の周囲長が最大6.1mの巨木であり、国有林内の代表的な巨樹・巨木を選定した「森の巨人たち百選」のひとつにもなっています。高さ7mで2本の木が枝で繋がっているため、木目を通じ合っていることを意味する「連理の木」として知られるとともに、縁結びの木としても親しまれています。

このカツラの木には、明治のころ、船を作るために力自慢の漁師がこの木を切り倒そうとして斧を振り上げた途端、急に力が抜けて切れなくなったため、「神の宿る木に違いない」と奉られるようになったという伝説があります。



縁桂に触ると木に宿る縁結びの神様により良縁に恵まれると言われており、縁桂の前での結婚式も挙げられています。

駐車場から縁桂までの約1kmはウッドチップの遊歩道が整備されているため、チップの柔らかな感触を楽しみつつ、ブナやナラなどの天然林の優しい香りに包まれながら森林浴が楽しめます。

また、毎年秋分の日には「縁桂森林(もりもり)フェスティバル」が開催され、散策会や昼食会に道内各地から多くの人が訪れています。

なお、縁桂を訪ねる際には、地域の熊出没情報などを確認いただき、熊よけ鈴等を持って複数人で行動するようお願いいたします。



縁桂森林(もりもり)フェスティバル



縁桂



縁桂遊歩道

アクセス

JR新函館北斗駅から車で約1時間半

函館空港から車で約2時間

※冬季(12月～翌5月)は駐車場手前約1kmから通行止めになります。

参考URL

乙部町公式サイト

<https://www.town.otobe.lg.jp/section/sangyou/e0taal0000000bkk.html#s1>



焼走自然観察教育林

はちまんたい
岩手県八幡平市

大地の躍動と 生命の息吹を感じる山麓

概要

焼走^{やけはしり}自然観察教育林は、岩手県最高峰である岩手山（標高2,038m）の北東部にあり、1732年の岩手山の噴火で流れ出た溶岩が固まってできた「焼走り熔岩流」が、長さ4km、最大幅約1.5kmにわたり広がっています。

火山国である日本では、各地で溶岩流を見ることができますが、この「焼走り熔岩流」は噴火から約300年経った現在に至るまで当時の状態が維持されており、その希少性から、国の特別天然記念物（昭和27年）と十和田八幡平国立公園特別保護地区（昭和31年）に指定されています。

「焼走り熔岩流」では植生遷移の速度が極めて遅く、コケ植物や地衣類が多くを占めています。また、ゆっくりと遷移していく植生と、溶岩流を間近に観察できる場所としては国内でも珍しく、学術的にも極めて貴重なものとなっています。



焼走自然観察教育林には全長約2kmの自然観察路があり、岩手山とその裾野に広がる暗褐色の大地を間近で楽しむことができます。また、焼走り熔岩流第一噴出口跡（標高1,220m）上部の砂礫地帯は国内最大級のコマクサ群生地で、初夏には登山道沿いで桃色の可憐な花が見られます。溶岩流に隣接するカラマツ林内には、バリアフリーの遊歩道が整備されており、森林内の散策も楽しむことができます。

周辺には温泉、食事処、オートキャンプ場などの施設が充実した「岩手山焼走り国際交流村」があり、岩手山麓の大自然を五感で満喫できるアウトドアスポットとなっているので、散策と合わせて訪れてみてはいかがでしょうか。



オートキャンプ場



カラマツ林の遊歩道

アクセス



公共交通機関の場合

JR花輪線 大更駅からタクシーで約15分



自動車の場合

東北自動車道 西根ICから約15分

参考URL

八幡平市観光協会

<https://www.hachimantai.or.jp>



なお、散策の際は、安全のためにトレッキングシューズなど歩きやすい靴でお越しいただくとともに、気象庁が発表している岩手山の噴火警報もご確認くださいませようお願い致します。



コマクサ



第一噴出口跡上部に咲き誇るコマクサ

小田代・湯ノ湖 自然観察教育林

栃木県日光市

湖と滝、高原の涼しい風を
満喫できる奥日光

概要

日光東照宮・日光二荒山神社・日光山輪王寺の二社一寺に代表される観光地日光から、更に一步進んで「いろは坂」を登れば、奥日光と呼ばれる地域に入ります。

小田代・湯ノ湖自然観察教育林は、奥日光の中西部に位置し、男体山（標高2,486m）や日光白根山（標高2,578m）などの日光火山群に囲まれた盆地に広がっています。このエリアは、戦場ヶ原、小田代原、湯川、近傍に温泉の源泉がある湯ノ湖など、ラムサール条約に登録された奥日光の湿原のほか、栃木県内最大の湖である中禅寺湖などの湖沼があることでも有名です。

また、奥日光三瀑布と呼ばれる華厳の滝、湯滝、竜頭の滝をはじめとする迫力のある滝が多いことでも知られています。

楽しみ方

小田代・湯ノ湖自然観察教育林がある奥日光は、首都圏から近い場所にあるため、夏季には湿原の花々を眺めに多くの人が訪れます。緑豊かな林間を通り抜けるハイキングコースでは、清々しい高原の風を感じながら散策や野鳥観察を楽しめます。

男体山と赤城山の神が争ったという伝説が残る戦場ヶ原のほか、約100haの湿原・草原が広がる小田代原では、写真家の間で「小田代の貴婦人」と称される、緑の背景に純白の木肌が映える1本のシラカバが人気を博しています。数年に一度、長雨や大雨の後にだけ姿を現す幻の湖「小田代湖」も注目を集めます。



戦場ヶ原でのハイキング 提供：奥日光写真クラブ



新緑の華厳の滝
提供：奥日光写真クラブ



「小田代原の貴婦人」と呼ばれるシラカバの木

アクセス



公共交通機関の場合

JR日光駅→（東武バス：約1時間）→「赤沼」バス停から徒歩すぐ



自動車の場合

東北自動車道経由 日光宇都宮道路 清滝ICから約40分
関越自動車道 沼田ICから約1時間20分

参考URL

日光湯元ビジターセンター

<http://www.nikkoyumoto-vc.com>



日光自然博物館

<https://www.nikko-nsm.co.jp>



近江湖南アルプス 自然休養林

滋賀県大津市・栗東市

か こうがん
花崗岩の巨石・奇岩でできた
アルプスの景観と琵琶湖の眺望

概要

おうみ こん
近江湖南アルプス自然休養林は滋賀県南部に連なる山々を指す「湖南アルプス」と呼ばれる地域に位置し、花崗岩の巨石・奇岩が作り出す独特の景観と、山頂からの琵琶湖の眺望を楽しめる森林です。

古くはヒノキの美林が存在していましたが、平安京の造営や薪炭材採取による過度な森林伐採のため、明治時代初期には「田上のはげ山」と称されるほど荒廃が進んでいました。土砂流出対策として明治時代以降に進められた治山工事により森林が回復し、現在は四季を通じて散策が楽しめる森林となっています。



林内には谷沿いや尾根沿いのルートなど多数の遊歩道が整備されており、稜線まで上がれば天狗岩や耳岩などの奇岩に出会えます。切り立った岩肌を流れ落ちる落差約20mの落ヶ滝は迫力があり、明治時代にオランダ人技術者の指導を受けて築造されたと言われている「オランダ堰堤」近くの沢では水遊びを楽しめます。

そのほか、奈良時代後期から平安時代にかけて巨岩に掘られた^{こま}狛坂磨崖仏や、付近には733年に創建された^{こんしやうじ}金勝寺もあり、仏教文化に触れることもできます。



オランダ堰堤



アクセス



公共交通機関の場合

JR草津駅東口→(帝産湖南交通バス「上桐生線」：約30分)→「上桐生」バス停から徒歩すぐ



自動車の場合

新名神高速道路 草津田上ICから約15分
一丈野駐車場(有料)：普通車100台、大型車5台
有料期間：4月～翌年3月までの土日祝日、7月下旬～11月末までの全日

名神高速道路 栗東ICから約40分
馬頭観音堂前駐車場(無料)：普通車8台

参考URL

一般社団法人栗東市観光協会

<https://www.ritto-kanko.com/>

VR森林散策 近江湖南アルプス

(森林の中を360度見渡せるVR動画です)

<https://www.youtube.com/watch?v=s1d1rGjoQ54>



1

林業技能検定（1級～3級）の令和6年度試験結果と令和7年度試験予定について

1 はじめに

令和6年10月号の「林野」においても紹介したとおり、令和6年8月に厚生労働省により職業能力開発促進法関係省令が改正され、林業職種の技能検定が創設されました。

そして、指定試験機関である一般社団法人林業技能向上センター（以下「林業技能向上センター」という。）により、令和7年1月から2月にかけて愛媛県及び熊本県で初の検定試験（1～3級）が行われましたので、その様子と結果の概要、そして試験会場を拡大して実施される令和7年度試験の予定について紹介します。

2 令和6年度検定試験（1～3級）の結果について

令和6年度の検定試験は、学科試験（実技試験のうち1・2級の判断等試験も併せて実施）が1月25日に愛媛県と熊本県の会場で実施され、実技試験（チェーンソーを用いた製作等作業試験）が2月6日から8日にかけて熊本県の会場で、2月20日から22日にかけて愛媛県の会場でそれぞれ実施されました。



令和6年度 1級実技試験（受け口・追い口作成（傾斜木））



令和6年度 学科試験



令和6年度試験結果概要(1～3級)

	1級	2級	3級
受検申請者数	135	58	85
合格者数	4	16	57
合格率	3.0%	27.6%	67.1%

技能検定制度創設後、初の試験であり、受検者数の確保が心配されましたが、両会場の受検申請者数は合計278名と多数の受検者の方が集まり、関心の高さを伺うことができました。

特に2月6日からの熊本会場での実技試験においては、寒波により予定どおりの開催が危ぶまれたものの、当日はなんとか天候も回復し、その後の愛媛会場も含め運営上の大きなトラブルもなく無事に終了しました。

そして4月10日、林業技能向上センターにより検定試験の結果が発表され、1級で4名、2級で16名、3級で57名が学科試験と実技試験の両方で合格となり、各級の林業技能士が誕生することとなりました。

3 令和7年度試験 (1～3級)の予定について

4月1日、林業技能向上センターにより令和7年度検定試験の実施計画が公表されました。令和6年度は、そもそも技能検定が創設された令和6年8月末以降に具体的な試験準備が進められたことから、試験会場は熊本県、愛媛県の西日本の2会場のみとなったところですが、令和7年度は実技試験(製作等作業試験)の試験会場数が大幅に増え、北海道、岩手県、秋田県、群馬県、石川県、奈良県、広島県、愛媛県、熊本県の全国9会場での実施が予定されています。また、学科試験(実技試験のうち1・2級の判断等試験も併せて実施予定)はCBT方式※によりCBTテストセンター(全国で100か所以上を想定)で9月24日(1級)、9月25日(2級)、9月26日(3級)に実施を予定しており、受検者の利便性が高まることが期待されます。

受検申請は6月2日から6月30日までで、林業技能向上センターのウェブサイトにて受付しています。令和6年度に行われた学科試験の問題と正答や実技試験の具体的な課題の内容も同センターウェブサイトにおいて公表されており、事前の受検準備も一層やりやすくなっていますので、是非多くの林業関係者の方々に受検いただきたいと考えています。

※「Computer Based Testing」の略称。全国複数のテストセンターでコン

令和7年度試験予定(1～3級)

	試験会場	試験日	申請受付期間	合格発表
学科	全国に所在するCBT運営会社のテストセンター	令和7年9月24日(1級) 25日(2級) 26日(3級)	令和7年6月2日～30日	①令和7年11月28日頃 ②令和8年3月25日頃 (10月までに実技作業試験を受検した者は①、それ以外は②)
実技	＜判断等試験(1・2級)＞ 学科試験と同じ ＜製作等作業試験＞ 北海道、岩手県、秋田県、群馬県、石川県、奈良県、広島県、愛媛県、熊本県	＜判断等試験(1・2級)＞ 令和7年9月24日(1級) 25日(2級) ＜製作等作業試験＞ 令和7年8月19日～ 令和8年2月28日 (※上記期間で、林業技能向上センターが指定する日)		

※詳しくは林業技能向上センターウェブサイトをご覧ください。

4 おわりに

令和6年度の試験により、合計で77名(1～3級)の林業技能士が誕生しました。令和7年度は多くの会場で試験が実施される予定であることから、さらなる林業技能士の誕生が期待されます。

今後、技能検定制度がさらに広く普及することで、林業に従事する方々の技能の向上、労働安全の確保、処遇の改善などにつながるよう、林野庁としても、引き続きこうした取組への支援を続けていきたいと考えています。

令和7年度試験についてはこちら



令和7年

みどりの月間



毎年4月15日から5月14日は「みどりの月間」です。月間中は、多くの方々に森林や自然とふれあい、植樹活動等に取り組んでいただけるよう、様々なイベントが開催されるほか、緑の募金運動が重点的に実施されます。

緑化行事

「みどりの月間」には、春に見られる動植物の観察会や自然教室、国営公園の無料開放等のイベントが行われます。詳細については、以下のウェブサイトでご確認ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/ryokka/gekkan/>

また、「みどりの感謝祭」では、5月10日～11日に、東京都八王子市高尾にある「高尾599ミュージアム」において、森や木とふれあい、クラフトや体験プログラムなどが楽しめる「みどりとふれあうフェスティバル」を開催します。詳細は以下のウェブサイトに掲載しております。ぜひお越しください。

<https://www.midorinokanshasai.com/>

緑の募金

「みどりの月間」を「緑の募金全国一斉強調月間」として、春の「緑の募金」運動が展開されます。

緑の募金は、1995年に「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」（緑の募金法）が制定・施行され、今年で30年となります。「寄付」という形を通して、国内外で行われる植樹や間伐等の森林整備や緑化を行うボランティア活動、森林を活用した子供たちへの森林環境教育等を支援するものであり、また、災害による被災地域の復旧・復興支援（東日本大震災、能登半島地震等）を目的とした森林整備や緑化等にも使われています。

さらに、令和7年2月から3月にかけて発生した岩手県大船渡市などにおける山火事を受け、山火事被災地の復旧・復興に向けて、復旧支援使途限定募金（山火事）が新たに開始されました。ぜひ、募金への御協力をお願いいたします。

<https://www.green.or.jp/bokin/>



ボランティアによる植樹



ボランティアによる除伐作業



自然体験学習



仮設住宅での組手仕の組立
(能登半島地震復旧支援)



小学校と連携した植樹活動(カンボジア王国)

写真提供：国土緑化推進機構